

所管課	生涯学習部図書館															
施策の大綱	まちづくりの目標(章)		施策分野(節)		施 策											
	第3章 元気創造都市		04 社会教育		02 図書館を通じて学習・読書活動を支援する											
事業：図書館管理運営事業														整理番号	0609	
目的	図書館サービス提供に必要な施設環境の維持と適切な電算システムの管理運営をすることで、快適な資料の利用環境のより一層の充実をめざす。															
目標	1. 適切な施設管理を行う。 2. 図書館電算システムの適切な管理運用を行う。															
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		39,637		コスト情報・評価	総コスト(千円)		57,415		総合評価 A 評価理由	妥当性		A			
	財源内訳	一般財源		39,637		内訳	事業費		39,637		効率性		A			
		国府支出金		0			人件費		17,778		有効性		A			
		地方債		0			公債費		0		図書館の基本的運営方針を定め、図書館事業評価の基盤が整ったこと、図書館システムの更新による図書館利用環境の充実が図れた。					
		その他特定財源		0			一人あたり(円)		514							
							世帯あたり(円)		1,215							
貢献度	施策に対する事業貢献度		A		根拠	教育立市「読書のまち河内長野」の実現をめざし、図書館を通じて学習・読書活動を支援している。										
今後の方向性	図書館の基本的運営方針に基づいた図書館事業評価を実施し、図書館サービスの維持・向上を図る。															

事業 優先順位		1	細事業:図書館管理運営事業					整理 番号		02	
目 的		1. 図書館内において、快適に各種サービスを利用できる。 2. 電算システムの活用により、資料全体が適切に管理され、どこかのサービスポイントでも資料の予約・貸出・返却などが迅速かつ的確に行える。									
目 標		施設及び図書館電算システムの適切な管理運用により快適な各種サービスを提供し、さらに新システムの導入によって利便性の向上を図る。図書館の基本的運営方針を策定する。									
事業 実施主体		直営	事業開始 年 度	平成14年度	根拠 法令	図書館法第3条					
事業費・財源			平成25年度	平成24年度	比 較	コスト 情報・従 事職員数 参考			平成25年度	平成24年度	比 較
	事業費（決算額）（千円）		39,637	36,117	3,520		総コスト（千円）		57,415	54,631	2,784
	財源内訳	一般財源	39,637	36,117	3,520		内 訳	事業費	39,637	36,117	3,520
		国庫支出金	0	0	0			人件費	17,778	18,514	-736
		地方債	0	0	0			公債費	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0			一人あたり（円）	514	484	30
			0					世帯あたり（円）	1,215	1,159	56
			0					職員数（人）	2.25	2.25	0.00
					再任用職員数（人）		0.30	0.30	0.00		
	今後の方向性		図書館の基本的運営方針に基づき、図書館事業評価を実施、図書館サービスの維持・向上を図る。また、情報発信を積極的に行っていくことで、市民の読書への関心を高めることをめざす。								
評 価	妥当性	効率性	有効性	対象者	施設と所蔵資料 図書館システム全般						
	A	A	A								

事業：図書館管理運営事業

多くの市民が利用する図書館を快適な学びの場とするため、良好で良質な図書館運営に努めた。

1. 適切な施設管理

多くの市民が利用する公共施設として、快適に利用できるよう施設の維持管理を行った。

2. 図書館電算システムの適切な運用

図書館の資料情報の充実や利用者情報の一層のセキュリティ強化を目的に図書館電算システムの更新を行い、快適な資料環境の充実を図った。

3. 安全安心な環境づくり

消防計画に基づき防災センターに職員を派遣し、防災研修を実施することで、安全安心な環境づくりに努めた。

細事業：図書館管理運営事業

個人情報保護の観点からセキュリティと情報発信機能の向上を図り、また快適な資料の予約・貸出・返却が行えるよう、図書館電算システムの更新を行なった。

1. 快適な読書環境の維持

学生などの自習者が多く来館するテスト期間の土・日曜日や夏休み期間に、館外に自習室を開設することで、館内の静かな読書環境の維持に努めた。

2. 特別整理期間における蔵書点検の実施

図書館資料の適正管理並びに迅速な提供を目的に所蔵資料と所蔵データの照合・点検を行う蔵書点検を6月に実施した。

3. 図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針の策定

図書館事業の自己点検・評価を実施するため、図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針を策定した。

4. 適切な図書館電算システムの管理運用

図書館資料の所蔵・貸出・返却・予約等の情報管理を担う図書館電算システムの更新を行ない、セキュリティ機能を高め、メールマガジンの発行やレファレンス事例の一部公開も開始して積極的な情報発信に努めた。

5. 適切な施設の管理

図書館施設が常に良好な状態で利用できるよう、施設管理業務や設備の保守点検管理業務などを行った。



【例年2月に実施し、多くの市民に好評のリサイクルフェア】



【12月にキックスで開催したクリスマス会の様子】